

NZSJ は 1959 年 11 月から数えて、今年は創立 60 年目を迎えております。

日本ニュージーランド協会 ニュースレター

NEW ZEALAND SOCIETY OF JAPAN

WAIHEKE 2019 年 11 月号

クリスマスパーティのお知らせ

日時：2019 年 12 月 7 日（土）17：30～20：00（17:10 受付開始）

会場：[Newzea Platform（ニュージープラットフォーム）](#)

東京都渋谷区神山町 42-3 3F-4F

JR 線・銀座線・井の頭線 渋谷駅 徒歩 15 分

千代田線 代々木公園駅 徒歩 5 分

小田急線 代々木八幡駅 徒歩 8 分

会費：6,000 円

※ NZ ワイン等のプレゼントを用意します。

受付：参加希望の方は **12 月 3 日(火)**までに

最寄りの当会理事宛まで、

または nzsj@outlook.jp までお知らせ下さい。



[Newzea Platform（ニュージープラットフォーム）](#)

【地図をクリックすると [Google Street View](#) でご確認くださいませ】

🍷 創立 60 周年記念パーティー報告 🍷

日 時：2019 年 10 月 26 日(土) 14:00～16:00

会 場：レストランアラスカ パレスサイド店

当日は快晴の天気恵まれ、又 ラグビーのワールドカップ開催中で、まさにニュージーランドとイギリスの準決勝戦の日と重なり、和やかな雰囲気の中で大いに盛りあがりました。駐日ニュージーランド大使のヘイミッシュ・クーパー氏からのメッセージを頂戴しておりましたので、皆さんに内容をお伝えしました。

60 周年を記念し、会の創設者の川瀬勇氏のご長女の藤村さんからのご挨拶によりパーティーがスタートしました。しばしグルメ&歓談の時を過ごした後は、日本ニュージーランド協会(関西)の呉橋さんよりプロジェクターを使用しながら、川瀬氏の功績とエピソードを交えてお話しを頂きました。会の運営に携わった歴代の会長の黛さん、實吉さん、水野さんからも当時の思い出話を懐かしくお聞きしました。日本ニュージーランド協会の歴史を振り返ることができ、あらためて、会が 60 年という長期に渡り継続できたのも、理事の方を含めまして、沢山のメンバーの方々のご協力の賜物と感謝いたしております。この度は、オークランドのニュージーランド協会の今井事務局長にもご出席頂き、来年度以降の活動の案件も含めて、新たなご提案には協力させて頂くつもりです。

尚、ご出席の皆さまには創立 60 周年記念パーティーのしおり、これまでの活動など足跡がご理解できる内容の小冊子をお持ち帰り頂きました。今後も活発な活動をめざして皆さんのご協力を得ながら頑張りたいと存じます。



日本ニュージーランド協会
会長 山崎 弘子

注. 『創立 60 周年記念パーティーのしおり』はホームページに掲載しております

季節のご挨拶(2018 年)

H、70 歳に

12 月に H は 70 歳になりました。NZ 社会では、こうした区切りの歳となると、それを祝うパーティを開きますが、H はそれを望まず、南島への旅の最終日の前日に誕生日を迎えることにしました。カンタベリー平原の田舎町をレンタカーで巡る旅でした。途中、日本でも頓に有名となったテカポ湖のほとりにある教会に行ってみました。この見どころは、教会の窓から広がる澄んだ湖と遠くに連なる雪を頂くの峰々です。ところが行ってみると、観光客だらけの上に、教会近くまでびっしりと新しい別荘が建ち並んでいたことです。1990 年代のワナカ(Wanaka)の町を見る思いでした。ワナカはアメリカ資本が不動産に集中的に投資したのですが、リーマンショックで投売り状態となりました。



誕生日の日には、小さな村でお昼にミートパイを食べました。この店の主人が言うには、平地が曇っていても、高地に行けば晴れていることが多いと勧めてくれたのが、Mt. Sunday でした。偶然にも誕生日の日は日曜日でした。コンディションのいい砂利道を走っているうちに、晴れてきました。たまに通る対向車が巻き上げる土ぼこりで前が見えなくなるほどでした。Mt. Sunday のあたりはロード・オブ・ザ・リングスのロケ地にも使われたところでした。走るうち、雪を頂く山々が見えてきました。春の顔をした山です。久しぶりに、このような山を見ました。車の入れる終点まで行くと、更に別の雪山が見られました。山に登ってみたいという気持ちになってきました。いつの日にはチャンスを作り、トライしてみたいと思いました。人は少なく、いい天気で気持ちのいい誕生日になりました。

レンタカーは砂利道の走行は禁止されています。宿に着くと、埃だらけの車を一

時間ほどかけて丹念に洗いました。車内の細々したところまで埃が入り込んでいました。心配していたのですが、翌日のレンタカー会社への返却の時には何も言われず、ほっとしたものでした。

友人の死

この 9 月に H の友人が亡くなりました。セルビアのベオグラードで死亡のメールを受け取りました。H のほんの数歳年上の友人でした。2 月と 8 月との帰国の際には、いつも会って呑んでいました。これまで持病はあったものの、元気でした。今年の 8 月は忙しかったこともあり、連絡を取らずに会えませんでした。そんなときの訃報。

歳を重ねるにつれ、友人・知人の死亡のニュースが伝わってきます。今回のことを教訓にして、病気を持つ人たちとは出来るだけ会っておくことにしました。2 月の帰国の際には札幌の J の友人を訪ねることにしました。

J のモラトリアム

今年の 2 月から 1 年間と区切りをして、J は仕事をセーブして今後の生き方を考えるモラトリアムの期間としています。こんなことを始めたのは、それまでに週に 2 回、締切の短い翻訳の仕事をしていて、この圧迫感に疲れたということがありました。

ほぼ 1 年が過ぎた今、のんびりと過ごしてきましたが、ほぼ結論として、仕事では定例で締切の短いものは、もうしないことにしました。仕事以外では、体に気をつける、物を徐々に処分する、古い絵はがきを売っていく、木の仏さまを彫りたい、本を書く、植物のことを学ぶ、フランス語・ドイツ語の勉強、水泳などといったところです。

J の年金

歳を重ねるとともに、年金がどうなっているのか気になるようになって来ました。こここのところ収入も減少気味です。NZ での公的年金は、保険金を払っていなくてももらえます。その財源となるのは税金です。NZ で J は、消費税は払いこそすれ、所得税は払ったことはありません。それでも貰えるものなのか。そこで相談に行くことにしました。何と相談する担当者と会うまでの大変だったこと。幸いにして担当者がフレンドリーな人で助かりました。税金を払っていなくても、65 歳になって申請すれば貰えることが分かりました。

J は日本に滞在していたころ、会社勤めをしていたことがあり年金の掛金を納めていました。従来、年金受給資格は 25 年間支払わなければなりませんでした。それが改正となりより短い期間でも貰えるようになりました。J もこの改正により、日本での年金をもらえる資格があることが分かりました。ただ年金は、どちらか一つからしか受給できません。どちらで貰うか、慎重に検討しているところです。

J とマーケット

月に一回、第二土曜日の朝 9 時から 11 時半まで、隣町のチームズで開かれるグリーンドルマーケットに出店しています。この取引は、お金を介在させず、会員間

での取引となります。かつて日本でも流行った地域通貨の一種です。しかし会員外の方がほしいものがあれば、それは現金で取引できます。出店者はJのように素人もいますが、プロの人もいます。

間口 2m、奥行 1mのスペースに、自分の不用となったものや植木、タネ、本、食料品などを並べます。一人の日本人の女性も会員となり、マーケットの日に日本語で会話できるのが楽しみです。最近マネージャーが代わり、マーケットの活性化に力を入れていますが、趨勢を見ると、段々と落ち目です。

これとは別に、パエロアにあるアンティークショップで古い絵はがきを売ってみました。結構いい値段になりました。これまでに集めた絵はがきをたくさん持っているので、アンティークのマーケットでも処分して行きたいと思っています。オンラインで売るという方法もあるのですが、なかなか面倒で踏み切れません。

元経済産業調査会英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本

今年 5 月 23 日に私たちの共著で、長いタイトルの本を経済産業調査会から出版しました。最近、長いタイトルが流行りだということに倣いました。何と 28 字あります。表紙の絵は H の豪州の友人が描いてくれました。この本、出版の話をいただいてから出版まで、実に 4 年半が掛かってしまいました。

この本の結びに「英語 SOS」という欄があります。読者で英語を使っていて分からないことがあれば電子メールで知らせてくださいというものです。その疑問や質問に私たちが答えようというのですが、何故かこれまでにメールが届いたことがありません。英語の疑問も質問も本当にないのならいいのですが、ちょっと心配です。

初版で千部。全国津々浦々の本屋さんの店頭には並ぶものと想像していましたが、考えてみたら、それは誤りと気づきました。少なくなってきたとはいえ、全国には一万を超える本屋さんがあります。出版された千部を本屋さんの 1 万で割ってみると、実際に本屋さんに並んでいるのは、ほんの 10 店に 1 店だけです。残念ながら、まだ千部完売まで届いていません。もしまだこの本をご覧になっていないなら、次のサイトにアクセスしていただくと幸いです。

<http://goo.gl/Cmp2Vo>

H 大学で英語を教えている J の友人が、教科書として使ってくれるかもしれません。有難いことです。出版されて随分と時間が経ってしまったように思っていたが、まだ半年。2 月の帰国の際には、更にさまざまな人たちに声をかけていきたいと思っています。

これからの出版計画

「元経済産業調査会英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本」の原稿を書いていたときには、毎日、午前中は 2 時間ほど机に向っていました。書き終えた現在でも、習性になったようで、朝のうちには、よく書き物をしています。本を書いたという経験を生かして、次の出版についても考えています。アイデアとして 3 つくらいあります。コツコツと書き溜めて、実現できればと考えています。

電子書籍 (e-book)

J が書いた電子書籍 (e-book) が、二冊あります。まだご覧になっていなければ、ぜひダウンロードして見てください。よろしくお願いします。

「英会話力がアップする英語のことわざ」

<http://quickbooks.impress.jp/?p=3794>

「日本人が間違いやすい英語 ～初心者にありがちな誤記・誤用から学ぶ英会話上達術」

<http://quickbooks.impress.jp/?p=4863>

ゲーリー・ワイレン博士を迎えて

ゲーリー・ワイレン (Gary Wiren) スポーツ科学博士といっても、ぴんと来ない方がほとんどでしょう。もう少し説明を加えます。何かと話題の多く、世界でももっとも有名な人物の一人に、アメリカのドナルド・トランプ大統領がいます。この大統領のゴルフのレッスンプロを勤めるのがゲーリー・ワイレン博士なのです。1987 年には、PGA アメリカの「今年のゴルフ教師」に選ばれています。個人としてのゴルフのコレクションとしても有名な人です。ゴルフクラブ、ティー、本、雑誌、切手、絵画、メダル、絵はがきなどなど。

J はこのゲーリーと古くからの友人です。安倍総理とゲーリーの写真で、彼が手にしているのが、博士の著作を J が日本語に翻訳したものです。今年 4 月の日米首脳会談の折、フロリダのパームビーチゴルフクラブで、ゲーリーが安倍総理にサインをお願いして書いてもらっての記念のスナップです。

2019 年の 9 月に日本でお会いし、旧交を温めたいと思っています。折角に機会なので、何か彼を紹介するイベント開けないものかと考えているところです。

**海外からのお客さま**

海外からのお客さまは、今年は少なく、静かな一年となりました。1 月に英国、ロシアから 2 人、5 月に豪州から 1 人、そして年末に日本（宮城県）からの 3 人でした。私たちはだいたい 2 月から 3 月中旬と 8 月から 9 月中旬は不在となりますが、あとは NZ にいます。機会があれば、是非、当地にもお出掛け下さい。

今年の季節のご挨拶も長いものになってしまいました。最後までお読みいただき、どうもありがとうございました。

皆さまにとって、2019 年が健康で、希望に満ちたものとなるようにと願っています。

2018 年 12 月

アオ テア ロア (長く白い雲のたなびく国) ニュージーランドより

ジリアン・ヨーク 理事

年会費納入お願い 会員の方は2019年度の年会費3,000円を例会ご出席時にお支払い願うか、郵便局でお振込み下さい。

お手数ではございますが、今後、(2019年度11月以降は) ゆうちょ銀行の

記号： 10180 番号 74818531

名前： ニホンニューシーランド キョウ

へお振り込みくださいますようお願い申し上げます。

尚、郵便局の振替用紙(払込取扱票)を用いた、

口座記号番号： 00190-1-743478

加入者名： 日本ニュージーランド協会

へのお振り込みは廃止されています。

日本ニュージーランド協会のホームページ <http://nzsj.tokyo>



NEW ZEALAND SOCIETY OF JAPAN (日本ニュージーランド協会)

2019年度理事 (会長以外は50音順)

会長：山崎 弘子 理事：麻生 敏子、生沼 玲子、片山 愛一、神谷 尚武、

佐藤 松雄、島田 勝弘、Jillian Isabelle Yorke、庄司 桂一郎(副会長)、

真島 由香、丸山 有紀子(会計)、水野 伸夫(副会長)、

顧問：黛 雅男